保証書

マイコン沸とう電動ポット　保証書　　持込修理

取扱説明書、本体表示などの注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理いたします。製品と本書をご持参のうえ、お買い上げの販売店にお申しつけください。製品のある場所での出張修理や製品輸送の場合は、出張料や輸送料などの実費を申し受けます。

型　名	CD-FZ22
●お客様	お名前　☎
	ご住所　〒
●お買い上げ日　年　月　日	●販売店名・住所
保証期間 お買い上げ日より 本体1年	☎

修理メモ

●印欄に記入のない場合は無効となりますから、必ずご確認ください。

1. ご転居、ご贈答などで、お買い上げ販売店にお申しつけできない場合は、弊社のお客様ご相談窓口にお申しつけください。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   (イ)使用上の誤り、および改造や不当な修理による故障および損傷。
   (ロ)お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷。
   (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、および公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障および損傷。
   (ニ)一般家庭用以外(たとえば業務用の長時間使用、車輌、船舶へのとう載)に使用された場合の故障および損傷。
   (ホ)本書のご提示がない場合。
   (ヘ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書きかえられた場合。
   (ト)消耗部品の交換。
3. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
4. 本書は盗難・火災などの不可抗力以外で紛失された場合は、再発行いたしませんので大切に保存してください。

●お客様にご記入いただいた記載内容は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
●この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

象印マホービン株式会社
〒530-8511　大阪市北区天満1丁目20番5号 ☎(06)6356-2391

愛情点検　長年ご使用のマイコン沸とう電動ポットの点検を！

こんな症状はありませんか
●ご使用中、電源コード・差込みプラグが異常に熱くなる
●保温ランプに切りかわらないときがある
●その他の異常や故障がある

ご使用中止
こんな症状のときは、故障や事故の防止のため、必ず販売店に点検(有料)をご相談ください。

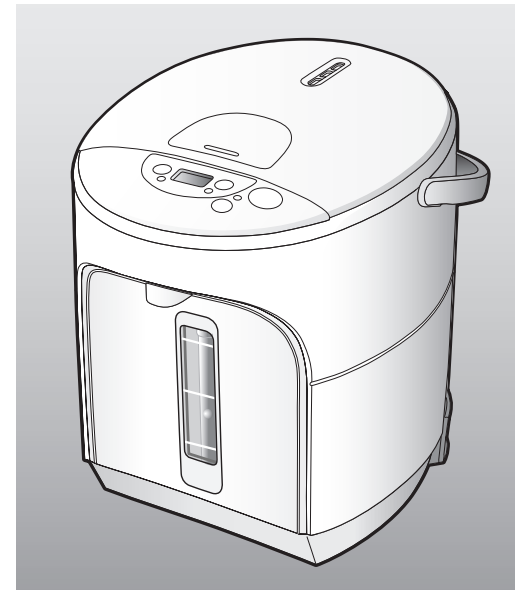
CD-FZ型　Z-ⒸⒷⒶ

ZOJIRUSHI

マイコン沸とう　家庭用

電動ポット ZUTTO

取扱説明書

型名　CD-FZ22 型

●このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございました。
●この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、大切に保存してください。

保証書つき

もくじ

安全上のご注意　必ずお守りください

ご使用の前に

※ここに表した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのもので、「警告」「注意」の2つに分けてお知らせしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

⚠警告	取り扱いを誤ると、死亡または重傷などを負う可能性がある内容を表しています。
⚠注意	取り扱いを誤ると、傷害または物的損害が発生する可能性がある内容を表しています。

記号について

△記号は、警告、注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。
下図の場合は、「感電注意」を表します。

⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容が描かれています。
下図の場合は「分解禁止」を表します。

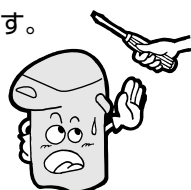
●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。下図の左は「差込みプラグを抜く」右は必ず実行していただく「強制」内容です。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保存してください。
※お買い上げの商品と取扱説明書に記載しているイラストが異なる場合があります。

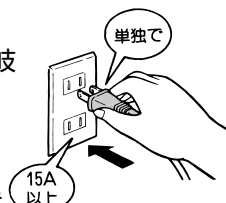
⚠警告

■改造はしない。また修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理をしない

火災・感電・けがの原因になります。
修理はお買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にご相談ください。

分解禁止

■定格15A以上のコンセントを単独で使う

他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

コンセントを単独で使用

■水につけたり、水をかけたりしない
■流し台など水にぬれた場所に置かない

ショート・感電の恐れがあります。

水ぬれ禁止

■満水表示以上の水を入れない

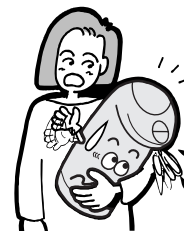
湯がふきこぼれ、やけどの恐れがあります。

禁　止

⚠警告

■本体を抱きかかえたり、傾けたり、ゆすったり、上ぶたを持って移動や排湯をしない

自動ロックされていても、本体を傾けたり倒したりすると注ぎ口や蒸気口から湯が流れ出て、やけどの恐れがあります。

禁　止

■蒸気口をふきんなどでふさがない

湯がふきこぼれて、やけどをすることがあります。

禁　止

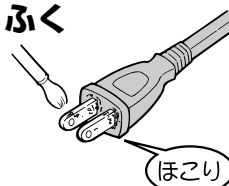
■子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない

やけど・感電・けがをする恐れがあります。

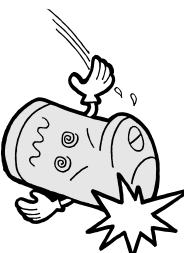
禁　止

■差込みプラグの刃(プラグの先端)および刃の取付面にほこりが付着している場合はよくふく

火災の原因になります。

ほこりをふく

■ポットを転倒させない

自動ロックされていても、本体を傾けたり倒したりすると注ぎ口や蒸気口から湯が流れ出て、やけどの恐れがあります。

禁　止

■電源コードや差込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

感電・ショート・発火の原因になります。

禁　止

■マグネットプラグをなめさせない

感電ややけどの原因になります。

特に乳幼児が誤ってなめないよう注意してください。

禁　止

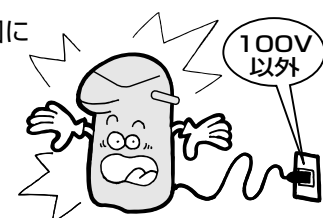
■上ぶたを勢いよく閉めない

湯がふきこぼれ、やけどの恐れがあります。

禁　止

■交流100V以外では使用しない

火災・感電の原因になります。

禁　止

安全上のご注意　つづき

⚠ 警告

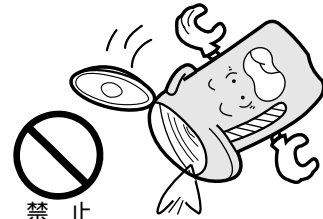
■蒸気口に手を触れない

やけどをすることがあります。

特に乳幼児にはさわらせないようご注意ください。

接触禁止

■上ぶたをつけたまま残り湯をすてない

上ぶたがはずれたときに湯がかかってやけどをする恐れがあります。

禁　止

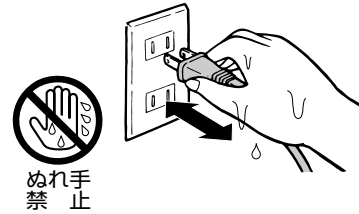
■マグネットプラグの先端にピンなど金属片やごみを付着させない

感電・ショート・発火の原因になります。

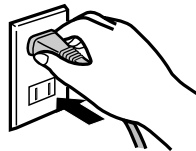
禁　止

■ぬれた手で差込みプラグを抜き差ししない

感電やけがをすることがあります。

ぬれ手
禁　止

■差込みプラグはコンセントの奥までしっかり差し込む

感電・ショート・発煙・発火の原因になります。

差込みプラグをしっかりと差し込む

■氷を入れて保冷用に使わない

結露が生じ、感電、故障の恐れがあります。

禁　止

■水以外のものをわかさない

お茶、牛乳、酒などはわき上がるときにふき出してやけどの恐れがあります。

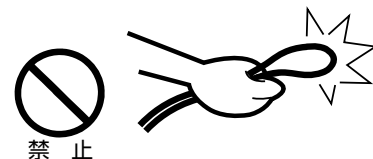
禁　止

■上ぶたは確実に閉める

倒れたときに湯が流れ出てやけどの恐れがあります。

上ぶたは確実に閉める

■電源コードを傷つけない

無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、高温部に近づけたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

禁　止

⚠ 注意

■湯わかし中は、湯を注がない

湯が飛び散りやけどの原因になります。

禁　止

■使用時以外は、差込みプラグをコンセントから抜く

けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

差込みプラグを抜く

■不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使用しない

火災の原因になります。

禁　止

■差込みプラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の差込みプラグを持って抜く

感電やショートして発火することがあります。

差込みプラグを持って抜く

■使用中や使用後しばらくは高温部に触れない

やけどの原因になります。

接触禁止

■上ぶたを開けるとき、出る蒸気に触れない

やけどの原因になります。

接触禁止

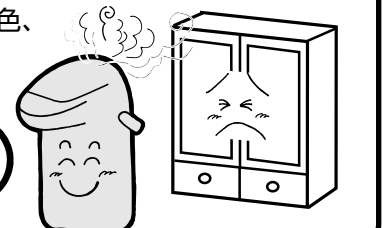
■お手入れは冷えてから行う

高温部に触れ、やけどの恐れがあります。

お手入れは冷えてから

■壁や家具の近くで使わない

蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色、変形の原因になります。

禁　止

安全上のご注意　つづき

⚠ 注 意

■出湯中に本体を回さない

湯が飛び散りやけどの恐れがあります。

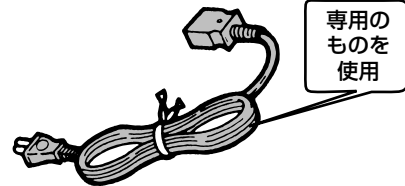
■本体を持ち運ぶときは、上ぶた開閉つまみに触れない

上ぶたが開いてけがややけどをすることがあります。

接触禁止

■専用の電源コード以外は使用しない
■電源コードは他の機器に転用しない

故障、発火の恐れがあります。

禁　止

お 願 い

■空だきはしない　火災・故障の原因になります。

■落とす、ぶつけるなどの衝撃を与えない
故障・破損の原因になります。

■キッチン用収納棚などの上で湯わかしをする場合、蒸気が天井部分に当たらないように注意する
変色や変形の原因になります。

■パネル部には湯がかからないように注意する　故障の原因になります。

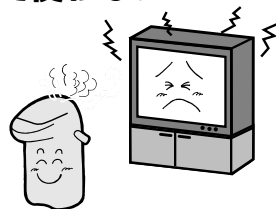
■水以外のもの(氷・スープ・牛乳・レトルト食品・お茶など)は入れない
ティーバッグやお茶の葉を入れてわかしたり、インスタント食品を調理したりすると泡立ち、内容物がふき出してやけどをすることがあります。
また水路が詰まったり内容器の焦げつきや腐食、フッ素被膜がはがれる原因になります。

■本体を引きずって移動しない
机などに傷がつく恐れがあります。

■熱源のそばやIH調理器の上で使用しない
火災・故障の原因になります。

■他の電気機器に蒸気が当たる場所では使用しない
蒸気により、電気機器の火災、故障、変色、変形の原因になります。

■凍結する恐れのある場所に長時間電源を切って放置する場合は、必ず内容器内の水を完全にすてる
凍結による故障の原因になります。

■ラジオなどの近くで使わない
ラジオ、テレビ、無線機、インターホンなどへの影響のないところまで離して使ってください。
雑音が入る恐れがあります。

各部のなまえ

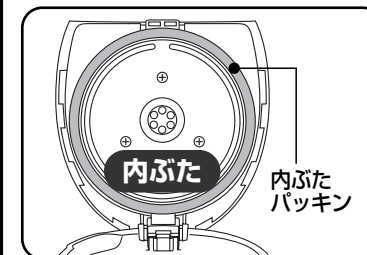
操作パネル

液晶表示部
現在の湯温や設定湯温を液晶で表示します。

「保温設定」キー
「給湯」キー
「再沸とう」キー
ロック解除ランプ
「ロック解除」キー
沸とうランプ
保温ランプ

ZOJIRUSHI　90　沸とう　保温

●「給湯」キー横の(●)は、目の不自由な方に配慮した目印です。

内ぶた
内ぶたパッキン

上ぶた
蒸気口
上ぶた開閉つまみ(フラットフック)
湯すて位置
満水表示
内容器(フッ素加工)
ハンドル
操作パネル
注ぎ口
水量パネル
水量ボール
給水表示
本　体
プラグ差込み口
電源コード
マグネットプラグ
差込みプラグ
容器ネット
◆内容器の底にセットされています。
回転底
◆本体が回転し、手元で湯が注げます。

◆電源コードは、別売もしています。電源コードの破損や紛失の際は、型名をご確認のうえ、お買い上げの販売店でお求めください。

型名:CD-KD12

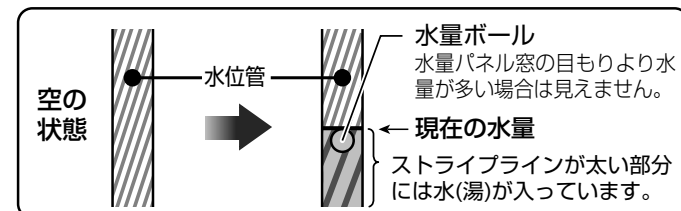
正しい使い方

初めてお使いになるときや、長期間お使いにならなかった場合は、一度湯をわかし、ロックを解除して「給湯」キーを押した後、残り湯をすててから、ご使用ください。
また、使い始めはプラスチックなどのにおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。

1 上ぶたを開け、水を入れる

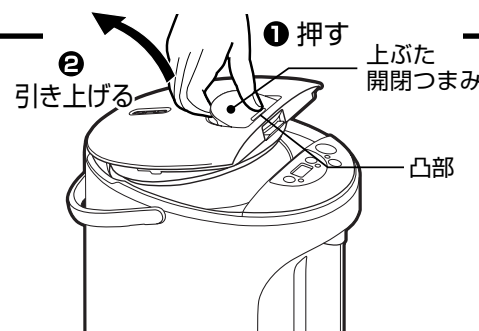
■水は水道の蛇口から直接入れず、別の容器で入れる（あふれるとショート・感電の恐れ）
■満水表示以上、水を入れない　（湯がふき出し、危険）
■本体および操作パネルに水がかからないように注意する　（感電・故障の原因）
■容器ネットがセットされているか確認する

※熱湯を入れると空だき防止機能がはたらくことがあります。
（P.10「空だき防止について」参照）

■水量により水量パネルの水位管のストライプラインの太さがかわります。

上ぶたの開け方

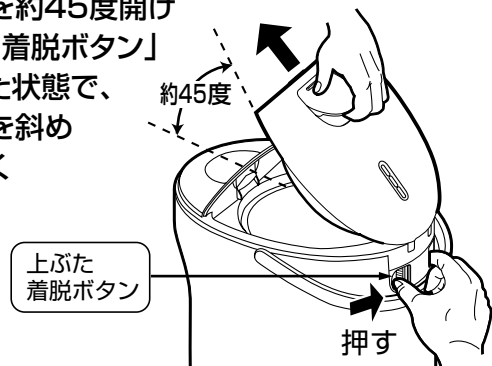
「上ぶた開閉つまみ」の凸部を押して引き上げ、上ぶたを開ける

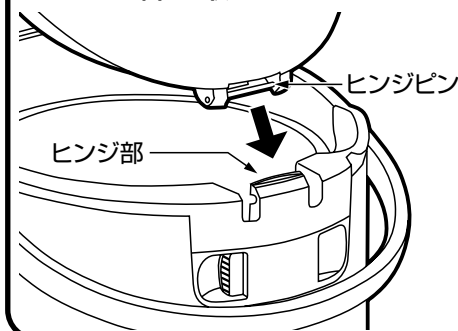
閉めるときは

「カチッ」と音がするまで確実に押し込む

上ぶたの取りはずし方

上ぶたを約45度開け「上ぶた着脱ボタン」を押した状態で、上ぶたを斜め上に引く

上ぶたの取つけ方

上ぶたのヒンジピンを斜め上からヒンジ部へ取りつける

ヒンジピン
ヒンジ部

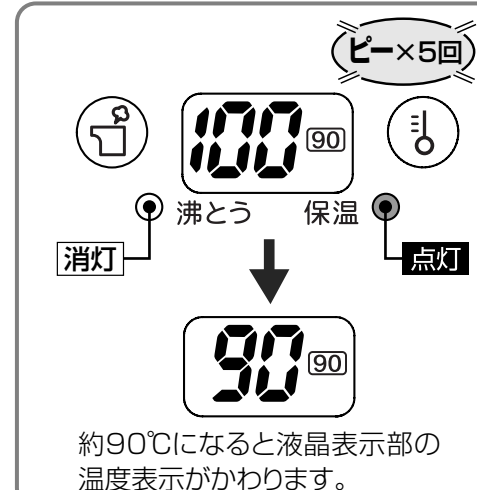
■上ぶたを開閉するとき「カラカラ」という音がしますが異常ではありません。
（P.16『故障かなと思ったとき』参照）

2 湯をわかす（蒸気セーブ）→ 保温（90保温）

プラグを接続すると、自動的に湯わかし開始（蒸気セーブ）

沸とうランプが点灯し、液晶表示部に水温を5℃きざみで表示します。

湯わかしが完了→保温

（ブザーが鳴り、沸とうランプが消灯、保温ランプが点灯）

約90℃になると液晶表示部の温度表示がかわります。

90保温

98保温に比べ、保温電気代※が約20%節約になります。

※1日2回給水湯わかし・2回再沸とう24時間/日・365日/年使用し、湯わかし2回再沸とう2回分を引いた電気代

蒸気セーブ

沸とう直前にヒーターのパワーを下げ、壁や家具への影響が気になる蒸気の量をセーブします。

※湯の量が少ない場合や再沸とう時は蒸気セーブにならないことがあります。

■やけどの恐れがありますので、以下の内容をお守りください。
- ・沸とうランプ点灯中は上ぶたを開けない
- ・湯わかし中は湯を注がない
- ・蒸気口にふきんをかけない
- ・蒸気口から出る蒸気に注意する

湯わかしが終わるまでの時間
約18分

（室温20℃、水温20℃、満水）

※この時間には沸とう後のカルキとばし時間（約3分）が含まれています。

保温中に湯が少なくなったら水をつぎ足してください。（自動的に湯わかしを始めます。）

つぎ足す水の量が少ないと、沸とうしない場合があります。その場合は「再沸とう」キーを押してください。

※水をつぎ足す場合、蒸気に注意する（やけどの恐れ）
※上ぶたは勢いよく閉めない（湯がふき出し、やけどの恐れ）

3 湯を注ぐ

キーを押す

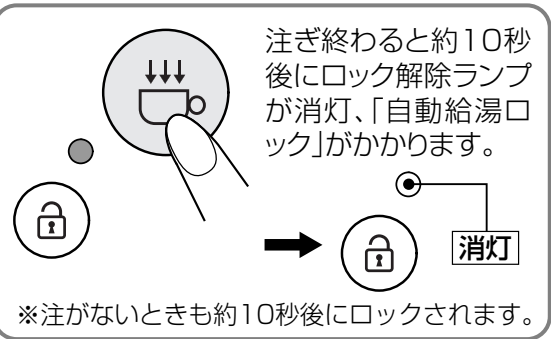
ロック解除ランプが点灯し、湯が注げる状態になります。

キーを押して湯を注ぐ

注ぎ終わると約10秒後にロック解除ランプが消灯、「自動給湯ロック」がかかります。

消灯

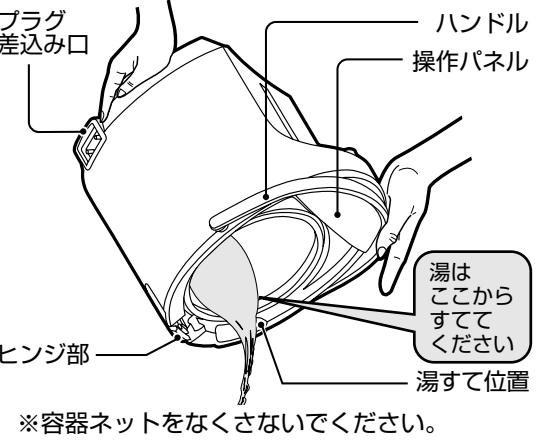
※注がないときも約10秒後にロックされます。

■注ぐとき本体が回らないように注意する (やけどの恐れ)
■本体を回すとき電源コードが巻きつかないように注意する (転倒の恐れ)
■内容器が空のとき、ロック解除して「給湯」キーを押さない (故障の原因)

※ロック解除ランプが消えているときは湯は出ません。
※1杯目の湯は、ぬるくなることがあります。
※沸とう中や沸とう後しばらくは湯が出にくいことがあります。
※湯わかしおよび保温中は本体が熱くなりますので注意してください。

自動給湯ロックとは

うっかり「給湯」キーに触れたとき、湯が出ない安全機能です。

4 残り湯をすてる

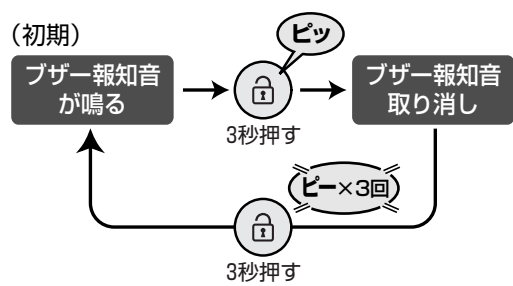
① プラグを抜き、上ぶたをはずす
② 図のように両手で本体を持つ (すべらないようにしっかり持ってください。)
③ 内容器の湯すて位置から残り湯をすてる

※容器ネットをなくさないでください。

■ぬれた手で差込みプラグやマグネットプラグを持たない (ショート・感電の恐れ)
■上ぶたは必ずはずして湯をすてる (上ぶたがはずれ、やけどの恐れ)
■操作パネルやヒンジ部・ハンドル・プラグ差込み口に湯がかからないよう注意する (やけどや故障の原因)
■注ぎ口からのしずくが手にかからないよう注意する (やけどの原因)
■1日1回は残り湯をすてる (水アカ付着の原因)
■残り湯は湯すて位置からあふれないようにすてる (やけどの原因)

■沸とう完了時のブザー報知音の取り消し方

この製品には沸とう完了時にブザー音でお知らせする機能がついています。初期はブザー報知音(ピー×5回)が鳴るように設定されていますが、次の操作でブザー報知音を取り消すことができます。

湯わかし中または、保温中に キーを3秒以上押すと、ブザー音が鳴り(右図)切りかえ完了

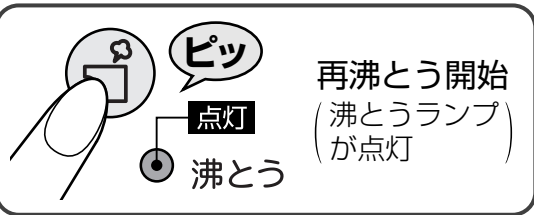
※ブザー報知音取り消しの設定でもキーの受けつけ音は鳴ります。(「ピッ」または「ピー」)
※プラグを抜いて、しばらくするとブザー報知音が鳴る設定に戻ります。

■再沸とう

保温中の湯を再びわかすときに使います。

キーを押す

再沸とう開始 (沸とうランプが点灯)

▼

再沸とうが完了→保温
(ブザーが鳴り、沸とうランプが消灯、保温ランプが点灯)

■再沸とうが終わるまでの時間

98保温の場合	90保温の場合
約2分	約4分

(室温20℃、満水)

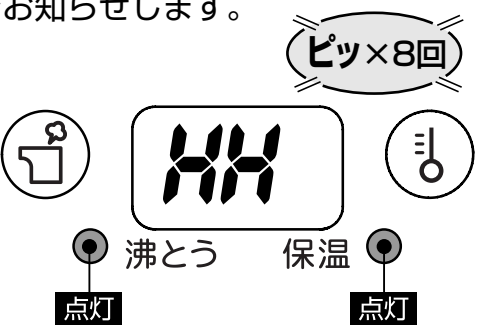
※再沸とう時は、蒸気セーブにならないことがあります。
※再沸とうさせるときは、給水表示以上の湯が入っていることを確かめてから「再沸とう」キーを押してください。
※保温ランプが点灯するまでは湯を注がないでください。湯が出にくいことがあります。

■空だき防止について

次のようなときは、過熱による故障を防ぐために空だき防止機能がはたらいてヒーターへの通電を止め、表示とブザー(下図)でお知らせします。

原因
■水を入れずにプラグを接続したとき
■給水表示以下の水量でわかしたとき
■湯を使いきったまま放置したり、給水するため、上ぶたを開けたまま放置したとき
■プラグを接続後、すぐ熱湯を入れたとき

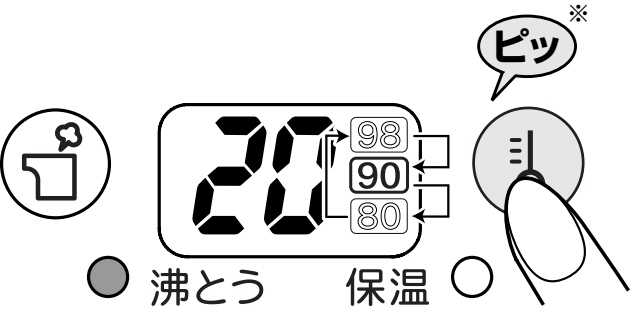
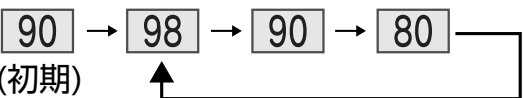
処置
プラグを抜き、内容器が十分冷めてから水を入れ、再びプラグを接続する

沸とう 点灯　保温 点灯

空だきを繰り返すとフッ素被膜が変色したり、はがれたりする原因になります。

保温設定をかえる

キーを押して

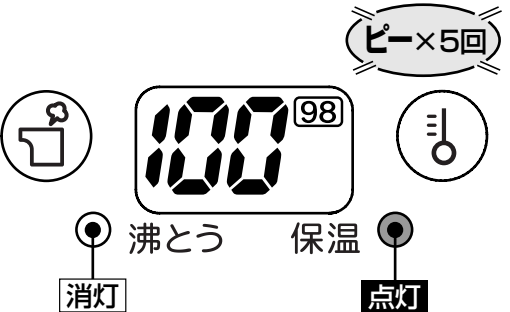
設定したい温度を選ぶ

キーを押すたびに液晶表示部の設定がかわります。

※90保温に設定したときは「ピー」

◆初期は90保温に設定されています。
◆保温温度の設定は保温中でもできます。
（この場合、湯温により自動で再沸とうを開始する場合があります。）

98 保温

98℃はコーヒーや紅茶、カップめんに適した温度です。

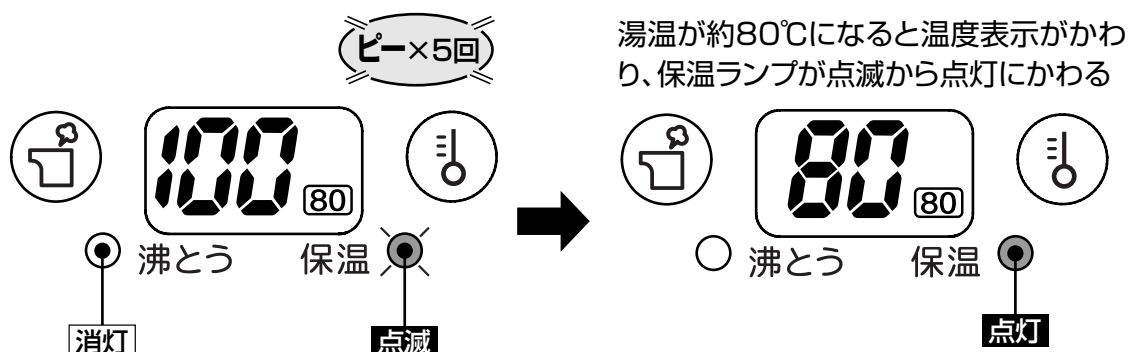
湯わかしが終わるとブザーが鳴り、沸とうランプが消灯、保温ランプが点灯

湯温が約98℃になると温度表示がかわる

◆沸とうし続けるのを防ぐため、気圧などの条件によっては、96〜97℃で保温することがあります。

80保温

80℃は日本茶（煎茶）に適した温度です。

湯わかしが終わるとブザーが鳴り、沸とうランプが消灯、保温ランプが点滅
（保温中に設定した場合、80保温設定の2秒後に点滅にかわります。）

湯温が約80℃になると温度表示がかわり、保温ランプが点滅から点灯にかわる

湯わかし後、湯温が80℃になるまでの時間	
2.2Lの場合	約1時間20分
1Lの場合	約50分

(室温20℃の場合)

※水量·室温などにより時間が変化することがあります。
※湯の温度を早く下げたい場合は、湯の量を減らしてください。
※湯温が下がっている途中で給水すると、沸とうしないことがあります。

■80保温中に誤ってプラグがはずれた場合、再びプラグを接続すると90保温に戻り、自動的に再沸とうを開始することがあります。再沸とうを取り消す場合は、次の手順で取り消してください。

① キーを押し、「80」に設定する

② 続けて キーを押す

◎ただし、水をつぎ足した場合など、湯温が低い時は取り消しできません。

※カルキ除去のため、一度沸とうさせてから使用してください。水からの湯わかし中に中断させるとカルキが除去されていない場合があります。

※「再沸とう」キーで再沸とう、再沸とう取り消しの動作を繰り返さないでください。故障の原因になります。

お手入れ

必ずプラグを抜き、残った湯をすて本体が冷めてからお手入れしてください。

内容器

赤さび状の斑点(もらいさび)・乳白色・黒色などの変色・膜状のものは水の成分(ミネラル分)によるもので、内容器自体の変色や腐食ではありません。
衛生上問題はありませんが、定期的(1〜3ヶ月に1回)にクエン酸洗浄を行ってください。
※使用される水質や湯わかしの回数によって汚れの状態は違ってきます。

クエン酸洗浄のしかた

※容器ネットが汚れている場合は、内容器からはずし、ブラシで洗って再度取りつけてください。

❶ コップにクエン酸30ｇを入れて、ぬるま湯で溶かす

❷ 内容器に水を入れ、❶ のクエン酸を溶かしたぬるま湯を入れる

❸ プラグを接続して、 キーを3秒以上押す

<洗 浄 中>

沸とう　保温

約1時間30分

<終　了>

ピー×5回

沸とう　保温

ランプと液晶が同時点滅

ブザーが鳴り、ランプと液晶が点灯にかわる

※水は満水表示以上入れすぎない(ふきこぼれる恐れ)

※クエン酸洗浄中に湯を飲んでしまった場合は、クエン酸洗浄剤に記載されている内容に従ってください。

◆洗浄時間は、水量・水温・室温などにより多少かわります。

◆汚れが落ちにくい場合は、繰り返しクエン酸洗浄をしてください。

途中でクエン酸洗浄を取り消すときは

プラグを5秒以上抜く

❹ プラグをはずして湯をすてる

❺ 水だけをわかし、湯をコップ１杯程度吐出させたあと、残りの湯をすてる(内容器および注ぎ口内部をすすぐため)

◆泡立ち、ふきこぼれ防止のため、弊社のポット内容器洗浄用クエン酸(ピカポット)をお使いください。(別売)

洗浄用クエン酸は象印製品取扱店でお求めください。　型名：CD-KB03 (30g×4包入り)

容器ネット

内容器からはずし、ブラシで洗う

それでも汚れが取れない場合は、容器ネットを交換してください。交換の際は、製品の型名をご確認のうえ、製品をお買い上げの販売店でお求めください。

部品名：容器ネット　部品番号：62-6251

※容器ネットは必ず取りつけて使用する
（異物が電動ポンプ内に入り、湯が出なくなる原因）

内容器の底にあります。
引き抜くとはずれます。

取りつけるときは
しっかりと押し込む

部位	お手入れ方法
上ぶた・本体（外装）	よく絞ったふきんで汚れをふき取る あまり強くこすらないでください。
内ぶた	柔らかいスポンジで洗い、水ですすぐ
電源コード	乾いたふきんで汚れをふき取る

ご注意とお願い

■お手入れはこまめに

- アルカリイオン水をご使用になる場合は内容器にカルシウムが付着しやすくなります。また、内容器や容器ネットに付着した水アカなどの汚れをそのままにしておくと、湯わかしの音が大きくなったり、湯の出が悪くなります。
- 内容器はフッ素加工をしていますが長期間お手入れしないと変色が取れにくくなります。

■水以外のものは入れない

市販の水質改質材（炭など）やミネラル添加材を入れて使用しないでください。（かけらが詰まって故障の原因）

■製品の丸洗いや操作パネル部には絶対水をかけない。また、底がぬれた状態で製品を逆さまにして乾燥させない（内部に水が入り、故障・さびの原因）

■次のものは使わない

- 洗剤 (変色やにおいが残る原因)　●食器洗い乾燥機や食器乾燥器 (変形の原因)
- ベンジン・シンナー (樹脂が劣化する原因)
- みがき粉、ナイロンたわし、金属たわし、金属ヘラなど (内容器・内ぶたなどの傷つきやフッ素被膜のはがれの原因)

内ぶたパッキンの交換について

内ぶたパッキンは消耗品です。1年を目やすにご確認ください。

新しい内ぶたパッキンは、ぬれた柔らかいスポンジでふいてから取りつけてください。

内ぶたパッキンのはずし方

① 3本のネジをゆるめる
※ネジは上ぶたからはずさないでください。万一はずれた場合、ネジをなくさないでください。

② 内ぶたパッキンをはずす

内ぶたパッキンのつけ方

① 内ぶた外周に、内ぶたパッキンを図の通りきっちりとはめ込む

② 内ぶたを上ぶたに正しく合わせる
※内ぶたをはずした場合は、内ぶたの取りつけ穴に上ぶたの位置決めピンを差し込んでから内ぶたを取りつけてください。

③ 最後にネジを確実に締めつける

内ぶたパッキンが白く変色すると、傾けたり誤って倒した時に、上ぶたと本体のすき間から湯が流れ出てやけどの恐れがあります。

内ぶたパッキンが白く変色してきたら… ▶ 新しい内ぶたパッキンと交換(有償)してください。

・内ぶたの取りつけ穴
・上ぶたの位置決めピン
ネジ(3本)
内ぶたパッキン
内ぶた
上ぶた

部品名:内ぶたパッキン　部品番号:62-5702
交換の際は、製品の型名をご確認の上、お買い上げの販売店でお求めください。

故障かなと思ったとき

◎修理を依頼される前に下記の項目をご確認ください。いずれの場合にもあてはまらない場合には、型名とともにお買い上げの販売店または、弊社のお客様ご相談窓口までご連絡ください。

症状	原因	処置
湯がわかない	プラグがはずれている	プラグを差し込む
	マグネットプラグの先端に金属片やごみがついている	差込みプラグを抜いてからマグネットプラグの先端を掃除する
湯が出ない・出にくい	自動給湯ロックになっている	（ロック）キーを押してから（給湯）キーを押す (P.9「3 湯を注ぐ」参照)
	プラグがはずれている	プラグを差し込む
	マグネットプラグの先端に金属片やごみがついている	差込みプラグを抜いてからマグネットプラグの先端を掃除する
	内容器・容器ネットに水アカなどがついている	内容器・容器ネットを掃除する (P.13「お手入れ」参照)
	沸とう直後数分間は、湯が出にくくなることがあります。	一度上ぶたを開け、泡を逃がした後上ぶたを閉める (上ぶたを開けたときに蒸気に注意する)
注ぎ口や蒸気口から湯が自然に出る	水を満水表示以上入れている	水を満水表示以下に減らす
内容器にさび状の斑点がつく	水の中の鉄分によるもので、内容器の腐食ではありません。	クエン酸で内容器をお手入れする (P.13「お手入れ」参照)
お湯の中で膜状のものが浮遊している	水の成分(ミネラル分)によるもので、内容器の腐食やフッ素被膜のはがれではありません。	
湯わかし中に大きな音がする	内容器についた水アカなどの汚れをそのままにしておくと、音が大きくなります。	

症状	原因	処置
ランプと液晶が点灯する (表示「HH」、沸とう 点灯・保温 点灯)	水が少なかったり、熱湯を入れたため、空だき防止機能がはたらいています。 (P.10「空だき防止について」参照)	プラグを抜き、内容器が十分冷めてから水を入れ、再びプラグを接続する
ランプと液晶が同時点滅する (沸とう 点滅・保温 点滅)	クエン酸洗浄中です。 (P.13「お手入れ」参照)	クエン酸洗浄を取り消す場合、差込みプラグをいったん抜き、5秒以上たってからもう一度差し込む

症状	原因
上ぶたを開閉するときや沸とう中に「カラカラ」という音がする	万一転倒した場合、湯の流出を防止するためのオモリが動く音です。異常ではありません。
湯がにおう	水道水に含まれる消毒用塩素(カルキ臭)が残ることがあります。
	使いはじめはプラスチックなどのにおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。
本体が熱くなる	湯温や室温が高い場合は本体外側が約60℃になりますが異常ではありません。

上ぶたの樹脂部品および内容器のフッ素加工について

- ●上ぶたの樹脂部品は、ご使用にともない傷んでくる場合があります。食品衛生上安全な材料を使用していますが、樹脂部品が変色したりザラザラしてきた場合は、交換(有償修理)してください。
- ●内容器(フッ素加工)は、ご使用にともない傷んでくる場合があります。お買い上げの販売店または、弊社のお客様ご相談窓口にご相談ください。

仕様

型名		CD-FZ22
定格容量		2.2L
定格		交流100V 985W 50/60Hz
平均保温時消費電力	98保温時	約41W
	90保温時	約34W
	80保温時	約28W
電源コード		1.2m
外形寸法（cm）		幅約21.5×奥行約28.5×高さ約25.5
質量(コード含む)		約2.5kg
電動ポンプ(電動機)消費電力		1.2W

◆平均保温時消費電力とは、1時間当たりを示し室温20℃で満水保温の場合です。
◆高さは、ハンドルを倒した場合の寸法です。
◆電動ポンプ（電動機）消費電力とは、給湯時の消費電力です。
◆日本国内交流100V専用(定格100V以外の電源では使用できません。)
◆特定地域(高い山･厳寒地)においては、所定の性能が確保できないことがあります。こうした場所での使用はなるべくおさけください。

アフターサービス

1. 保証書の内容のご確認と保存のお願い

必ず「販売店印およびお買い上げ日」をご確認のうえ、お買い上げの販売店から受け取り、内容をよくお読みのうえ、大切に保存してください。

2. 保証期間は、お買い上げ日より1年間

3. 修理をお申しつけされるとき

≪保証期間中≫
製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。保証書の記載内容に基づき修理いたします。

≪保証期間を経過しているとき≫
修理すれば使用できる製品は、ご要望により有料修理いたします。

4. 補修用性能部品※の保有期間は、製造打ち切り後 5年間

※性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5. 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料、部品代、出張料などで構成されています。
「技術料」は、診断･故障箇所の修理および部品交換･調整･修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
「部品代」は、修理に使用した部品および補助材料代です。
「出張料」は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

■お客様ご自身での修理、分解や改造は絶対にしないでください。

お客様ご相談窓口

修理・お取り扱い・消耗品や部品ご購入などのご相談は、まずお買い上げの販売店にお問い合わせください。
ご転居やご贈答などでお困りの場合、弊社の窓口「お客様ご相談センター」にお問い合わせください。
所在地、電話番号などは変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

ホームページのご案内
消耗品･部品のご購入専用ページ
http://www.zojirushi-fresco.com/

お客様ご相談センター

0570-011874
ナビダイヤル　市内通話料金でご利用いただけます

受付時間　9:00～17:00
月曜日～金曜日（祝日、弊社休業日を除く）
●携帯電話･PHSでのお問い合わせ　Tel (06)6356-2451
●ファクシミリでのお問い合わせ　Fax (06)6356-6143
製品の「型名･お問い合わせ内容」と、お客様の「お名前･ご住所･電話番号･Fax番号」をご記入のうえ、お問い合わせください。

便利メモ

おぼえのため、記入されると、便利です。

■お買い上げ日　　年　　月　　日
■販売店名

☎